

# 75期2年進路通信スタサポ分析号

今回はスタディサポート2回目の分析号です。あと1か月もすれば2学期が終わり、3学期はいわゆる「3年0学期」。ここから受験勉強を始めた人と、そうでない人の1年後の目指せる学校が大きく変わると言われています。まずは今を分析し、今後どうするかを考えましょう。

## 学年結果まとめ

### ① 学習時間

国公立大合格者と比較すると3倍の差がある！



1年1回目の学習時間は、高校受験をするための学習時間が含まれるので、例年高い数値になります。ここから順調に減っていくのが阿倍高生。75期生は、先輩の74期生よりも学習時間が短く、昨年、進学実績を大きく伸ばした73期生と比較すると、さらに短いことがわかりました。先輩と同様、難関大学への進学を希望している人は、そろそろ学習時間を増やしていきましょう。期末考査の勉強の延長で、考査後も継続して家庭学習ができるといいですね。

### ② 希望進路詳細

75期生は、74期生よりも国公立大志向が強い学年傾向です。前述の学習時間からすると、「目標は高いが、勉強不足」と言わざるを得ません。未定者が前回に比べて大幅に減ったことは、いい傾向ですので、目標に見合った学習時間を確保していきましょう。

3学期には進路別説明会が放課後に実施されますので、そこの話をきちんと聞いて、進路を決定して行ってほしいと思います。



選択肢	今回	前回
【希望進路】国公立大	8.7%↑	8.3%
【希望進路】私立大、大専	63.1%↑	44.1%
【希望進路】国公立・私立未定	5.4%↓	19.4%
【希望進路】短大	5.1%↑	4.8%
【希望進路】専門学校	9.6%↑	7.3%
【希望進路】海外進学	0.3%↓	1.0%
【希望進路】就職	2.2%↑	1.0%
【希望進路】未定	5.1%↓	13.7%

### ③ GTZ換算表

スタディサポートは模試と違って学校ごとの判定は出ませんが、GTZで目指せる学校が把握できます。目標に対して届いていない人はさらに努力を、目標に到達している人はさらに上を目指しましょう。

A1	難関大挑戦レベル	大阪市立・大阪府立・京都府立・神戸市外	関西学院・明治・青山学院・立教・中央
A2	国公立・中堅私立大合格レベル	兵庫県立・岡山・滋賀・京都工芸繊維・広島	関西・立命館・京都女子・京都薬・法政
A3	国公立・中堅私立大合格レベル	和歌山・滋賀県立・徳島・鳥取・香川	龍谷・武庫川女子・同志社女子・関西医
B1	国公立・中堅私立大挑戦レベル	琉球・岡山県立・福井・高知工科・下関市立	近畿・甲南・京都産業・関西外・京都橘
B2	国公立・中堅私立大挑戦レベル	公立鳥取環境・新見公立・名桜・釧路公立	摂南・大阪工・甲南女子・大阪体育・大和
B3	4年制大挑戦レベル	—	神戸学院・追手門学院・桃山学院・大谷
C1	4年制大挑戦レベル	—	大阪産・大阪電気通信・京都先端科学・兵庫
C2	4年制大挑戦レベル	—	大阪学院・大手前・大阪成蹊・大阪人間科学

## 教科からのアドバイス

勉強をしなくちゃいけないのはよくわかるが、何から手を付けたらよいかかわからないという質問がよくあります。今回のスタディサポートで、阿倍高生の弱点を教科担当の先生方に分析してもらい、アドバイスをいただきましたので、参考にしてみてください。

英語	<p>長文読解に課題があります。毎日長文を1題ずつ解く習慣を身につけましょう。長文を読むことで、語彙力は強化されていきます。</p> <p>日々英語を学習する習慣のない人がいるようです。英語の力はすぐには伸びません。毎日コツコツ取り組みましょう。</p> <p>1年生のときに使用した、英語の教科書や問題集をもう1度解いて、自分の弱点を早いうちに見つけましょう。勉強を進める中で、自分の課題が見えてきます。目標の進路に向けて頑張ろう！！</p>
数学	<p>スタサポの結果から言える2年の課題は「継続した学習」と「自信」です。自信を持つためには毎日の努力が欠かせません。文系の人には2次関数や正弦定理・余弦定理など習ってから時間の経った内容への理解度の低さ、理系の人には数列問題への弱さが目立ちました。公式をしっかりと理解し、自信をもって応用問題へつなげていけるよう、まずは30分でもいいので学習時間の確保をしてください。まず、スタサポ応用問題のやり直しから始めてみましょう。</p> <p>問題が必要な場合は遠慮なく声をかけてください。</p>

具体的なアドバイスをいただいています。冬休みに苦手な分野を克服しておく、3年生のスタートと同時に志望校に向けた受験勉強が開始できます。文系生徒は国英社、理系生徒は英数理を重点的に取り組んでみて下さい。少し古いネタになりますが、「いつやるか、今でしょう！」頑張ってください。

## 受験で意識したこと

### 武庫川女子大学食物栄養科学部食創造学科

私が受験を本格的に意識し始めたのは、3年生の6月あたりでした。4月から5月は緊急事態宣言中で休校中だったので、勉強する時間は十分あったのですが、心のどこかで「まだ大丈夫だろう」という思いがあって、あまり勉強していませんでした。休校期間が終わってしばらくすると、周りの子が塾に行き始めました。その様子を見て危機感を感じたので、本格的に受験勉強をしようと思いました。受験勉強をするときに私が意識したことが2つあるので、それらについてお伝えします。

1つ目は、周りに流されないことです。人にはその人の勉強方法があって、自分には自分の勉強法があります。塾を例にすると、周りの人が塾に行き始めたからと言って、自分も塾に行かなければならないというわけではないということです。塾のほうが勉強できる人もいれば、家の方が勉強できる人もいます。私は後者でした。私が家で勉強するときは、過去の定期テストを見返して、不得意なところがあればその部分を徹底的に復習していました。ある程度復習出来たら、参考書を買って何度も解きました。そして9月に入ってから学校にある赤本を家に持って帰って、ひと通り解きました。その後間違えた部分をしっかり確認して、復習した後に再びもう1回解くということを繰り返しました。8～9割くらいの点を取れるようになるまでやりました。このような感じで自分に合った勉強法を見つけることで、勉強の効率がぐっと上がると思います。ただ単にがむしゃらに勉強しても時間ももったいないので、受験勉強を始める前のある程度計画を立てることが大切だと思います。

2つ目は、自分に厳しくしすぎないことです。受験に対する危機感を持って勉強に励むことは大切ですが、時には休憩も必要だと思います。だから私は、1時間勉強して10分休むという流れを作っていました。また、ゲーム禁止や携帯禁止などの制限は一切かけませんでした。制限をかけてしまうと、勉強ばかりの生活が続いてストレスがたまると思ったからです。でも、勉強するときとのメリハリはきっちりつけるようにしました。ここをあやふやにしてしまうと、集中力が欠けて質の良い勉強ができなくなってしまうと思います。制限をかけない人は、メリハリをつけることを意識した方が良いと思います。

ここまで、私が受験するときに意識したことをお伝えしましたが、これらも1例に過ぎないので、参考程度に留めておいてほしいです。これからどんどん辛い時期に入っていくと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください。

※卒業生の文面をそのまま掲載しています。